

学校支援を積極的に進める

家庭・地域・学校が連携するPTA活動

武豊町立緑丘小学校PTA

1 はじめに

緑丘小学校は、武豊町の北西に位置している。昭和54年に開校し、創立42年目である。学区には、新興住宅地が点在し、比較的核家族が多い。

本年度は、25学級（内特別支援学級3学級）児童数725名である。校訓「よく遊び、よく学べ」の下、「心身ともに健康な身体をつくる」を重点目標の一つに掲げ教育活動を推進している。

2 研究への取組

(1) 研究の概要

児童の心身の成長を促すためには、家庭・地域・学校が互いに回り合い、連携を深めて活動することが必要である。そのために、次の二つを手立てとしてPTA活動を推進していく。

- ① 家庭と学校の連携を目指し、学校の教育活動や行事に保護者が参加できる場を設定する。
- ② 武豊町家庭教育推進連絡協議会（以後家推協）の活動にPTAが積極的に関わることで、家庭・地域・学校の連携を深める。

(2) PTAの組織

本校のPTAは、役員6名（会長1名・副会長2名・会計1名・会計監査2名）、学年実行委員30名（各学年5名ずつ）、分団実行委員22名で構成されている。学年実行委員は、整備A・整備B・衛生・図書・栽培・学年みちしば（広報）の六つの委員会に分かれ活動をしている。また、役員と各委員会の委員長による総務委員会がある。総務委員会が中心となりPTA全体に関わる行事の運営や家推協行事への協力をしている。

3 実践活動の概要

(1) PTAの活動

① あいさつ運動

PTAの総務委員会が中心となり、年間6回のあいさつ運動を行った。児童会役員や生活委員会の子どもたちと一緒に正門で朝の登校時に実施した。保護者が積極的に「おはようございます」と声をかける姿を見て、子どもたちのあいさつの声もど



どん元気になっている。「子どもたちのあいさつで、気持ちよくなります」と地域の方からの声も耳にする。あいさつを通した家庭・地域・学校の関わりの深まりを実感した。

【心と心をつなげる】

② 読み聞かせ

6月の学校公開日に図書委員会を中心として読み聞かせを行っている。子どもたちは、真剣に見入ったり、笑顔を見せたりしていた。児童の本への関心も高まり、図書館の貸し出し数も増えている。



【心を耕す】

(2) 地域との関わりを生かした取組

① 家推協との関わり

武豊町家推協が主催する「田んぼの教育」の田植え、稲刈り、もちつきへの協力を行っている。12月の「親子ふれあいもちつき大会」では、前日に、約300kgのもち米をネットに入れて研いだり、会場の体育館に七つの臼を設置したりするなど、本校PTAが中心となって準備をしている。当日は、蒸し上がったもち米を、子どもたちと保護者や町役場、区長、民生委員など地域のさまざまな方と力を合わせ、百臼のもちをつきあげた。PTAが、行事を支える役割を果たした。家庭・地域・学校が連携し1,000人に及ぶ子どもや地域の方々が集う笑顔があふれる場となった。



【力を合わせて】

② グリーンピースとの関わり

「グリーンピース」は、家推協緑丘小学校部会に位置付けられた団体で、児童の学校生活をより充実するための活動を進めている。7月の校内のペンキ塗り作業には、子どもからお年寄りまで約30名のボランティアが参加した。PTAも総務委員を中心として積極的に参加した。



【子どもたちのために】

校内の様子をよく把握しているPTAの委員が中心となり作業場所を考えた。そして、子どもたちにペンキの塗り方を教えながら作業を進めた。PTAが地域の方々と連携して活動することができた。

4 おわりに

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のために多くの活動を行うことができなかった。その中で、「学校のために、子どもたちのためにできること」をPTA役員が話し合い、運動会に向けて草取り活動を計画した。ボランティアを募ったところ、100名を超える保護者や子どもたちの賛同を得て、ともに汗を流すことができた。1時間という短い時間ではあったが、運動場とその周辺を美しく整備することができた。参観スペースの確保にもつながり、運動会の開催を支えることができた。運動会では、子どもたちの生き生きとした姿が見られた。

今後も児童の心身の成長を第一に考えてPTA活動を推進していきたい。